

■ 志津のお宝発見！地域と作る私たちの学校（志津小学校）

1 【活動の趣旨】

総合的な学習の時間での支援に関わって、子どもたちが地域に愛情を持ち、将来地域のために活動できるように、どのような学習をプログラムしていけばよいか学校運営協議会で熟議した。志津のお宝は「自然」と「歴史」であることを確認し、それらをもとに系統的な学習を仕組み、学習したことをこども環境会議などで地域に発信していくこととなった。



【草津焼体験】

2 【特徴的な活動内容】

(1) 3年生「総合的な学習の時間」

3年生の総合的な学習の時間「志津のお宝大発見！」では、地域の方に来ていただき、自然や歴史、工芸品などの話を聞いた。その話をもとに、地域の素敵などころを発見するために、地域探検に出かけた。また、「草津焼」の窯元の方に来ていただき、草津焼でランプシェード作りの体験をした。素敵なお作品がたくさん仕上がりに、自分たちの地域にある工芸品のよさを知ることができた。

(2) 6年生「総合的な学習の時間」

6年生の総合的な学習の時間「志津つながりプロジェクト」では、自分たちの地域について話を聞いた。本校の歴史や、昔の道や川の様子など、学校や周辺地域の変遷を詳しく教えていただいたことで、人とのつながりでまちができていることに気づいた。それをきっかけとして、自分たちも地域の一員としてできること、やってみようと思うことなどを考えていった。



【志津つながりプロジェクト】

3 【実施に当たっての工夫】

3年生の「志津のお宝大発見」では、実際に現地に出かけて地域の方から話を聞くことを心掛けた。また、6年生の「志津つながりプロジェクト」では、自分たちの学校や町の歴史について、実際に住み続けておられる方に話を聞くことで、志津のまちにさらに興味が持てるようにした。地域に伝わる歴史や、自然、寺社などについて地域の方から詳しく教えていただき、実物を見たり体験したりすることで、地域のものや人に対して愛着を持つことができ、自分たちにできることを考えようという意欲を高めることができた。また、地域コーディネーターとの連携を密にすることで、地域の人材発掘や企業等の紹介をしてもらうことができた。

4 【事業の成果】

今年度、「学んだことを地域に発信していく」ことを目標として、各学年で取り組んだ。例えば6年生では、人とつながることの大切さを学び、その発信の場として、地域の「ふれあい広場」で地域の人とつながる体験ブースを設置し、地域の方を巻き込んでスタンプラリーを開催することができた。他の学年も、それぞれの実態に合わせた発信を行うことができた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

総合的な学習を3年生から6年生まで系統的に計画し、地域協働合校の取組と連携するようになってきた。また、学校運営協議会とも連携し、メンバーの方にも講師になっていただき、学校運営協議会で熟議した内容を意識して話してもらった。